

事務事業評価表

○基礎情報

社会教育課			作成責任者		常勤		その他			時間外勤務時間	
課名					職員数	再任用フルタイム職員数	再任用短時間職員数	臨時職員数	非常勤嘱託職員数	総時間	一人あたりの月平均
施策目標	5	自分を見つめ、地域を見つめる社会教育と文化財保護を推進する	飯田 直士		9	1	1	8	7	3,518	29.3

1 施策指標と実績

施策指標名	第2次実施計画の現状値	目標値(27年度)	実績値			
			24年度	25年度	26年度	27年度
社会教育主催事業・イベントの参加者数	47,051人	48,000人	48,296人	46,107人	47,107人	48,593人
文化財の指定件数	39件	43件	42件	42件	43件	45件

評価の見方

- S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった  
A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった  
B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める  
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める  
D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない  
E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない  
Z 未着手事業  
実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった

2 事業実績(平成27年度)

No.	事務事業名	事務事業の目的・目指すべき成果	事務区分	実績			従事者数	会計区分	H27予算	事務事業の指標名	H27目標値	H27実績値	評価	業棚選定
		何を・誰を(対象)どうする(生まれる成果)		業務計画	広域連携	行政改革			H27決算(千円)					
1	社会教育講座の開催	現代的課題や地域課題についての学習機会を提供し、課題解決の一助とする。	自治事務	●	●		0.59	一般	202 ----- 105	講座開催数(参加者数)	年3回	年4回(75人)	S	
2	社会教育課事業のまとめ誌の発行	社会教育課が所管する事業を取りまとめ、市民に報告する。	自治事務				0.38	一般	0 ----- 0	発行回数	年1回	年1回	B	●
3	社会教育委員に関する事務	社会教育に関する調査・研究を行い、市民に対する社会教育事業の進行を図る。	自治事務				0.52	一般	814 ----- 751	会議回数	定例会年5回	定例会年5回	S	
4	社会教育関係団体への支援	社会教育関係団体を支援し、団体活動の活性化を図る。	自治事務				0.32	一般	208 ----- 207	支払時期	5月	6月	S	
5	PTA研修会の開催	広報委員やPTA役員に対しての研修を行い、PTAの効果的活動を図る。	自治事務				0.23	一般	80 ----- 90	研修会回数(参加者数)	年2回	年1回(149人)	A	
6	社会教育施設としての公民館のあり方の研究	社会教育主事会を開催し、社会教育や公民館について研究し、レポートを作成する。	自治事務	●			0.37	一般	0 ----- 0	研究レポートの作成	1回	1回	S	
7	社会教育関係職員及び審議会委員等の研修事業	社会教育施設の職員や嘱託員、審議会委員への研修を実施し、資質の向上を図る。	自治事務	●			0.52	一般	1,757 ----- 1,367	研修会回数(参加者数)	年5回	年5回(83人)	S	
8	文化財保護管理事業	文化財を次世代に継承する。	法定受託事務・自治事務	●			0.59	一般	6,316 ----- 5,817	指定文化財等の維持管理と埋蔵文化財指導・協議事務	3月末	3月末	S	

9	堤貝塚保存用地整備事業	堤貝塚保存用地の管理委託をし、適切な保存・管理を行う。	自治事務				0.17	一般	----- 124 124	県指定に向けた適切な維持管理	適切な維持管理	27年6月1日に市指定史跡とし、県指定に向け前進させることができた。	S	
10	文化財収蔵施設の整備事業	不足している文化財の収蔵施設を確保し、適切な保存・活用を可能にする。	自治事務				0.16	一般	----- 0 0	事業進捗状況	スペースの確保	確保できた収蔵スペースはあるが、まだ不十分である。今後の見通しについて庁内検討を行った。	C	●
11	文化財保護審議会の開催	文化財保護に関し、有識者より指導・助言を得る。	自治事務				0.53	一般	----- 270 267	文化財保護審議会の開催	4回	5回	S	
12	(仮称)茅ヶ崎市歴史文化基本構想策定準備事業	文化財を総合的に把握し、周辺環境と一体化し、地域社会全体で文化財を適切に保存・活用する。	自治事務	●			0.30	一般	----- 0 0	計画策定の準備作業	(仮称)茅ヶ崎市歴史文化基本構想策定	審議会より「時間をかけ慎重に検討を」との助言があり、本市の文化財に係る課題の整理を始めた。	C	
13	文化財保護思想の普及啓発	無形文化財や文化財全般に係る保護思想を次世代に継承する。	自治事務				0.84	一般	----- 275 269	郷土芸能大会の開催(参加者数)	1回	1回 (457人)	S	
14	文化財整備事業	文化財を市民に広く周知する。	自治事務				0.33	一般	----- 25 25	文化財講演会の開催(参加者数)	1回	2回 (103人)	S	
15	文化財の調査研究	藤間家所蔵の資料を調査・整理し、新たに文化財を次世代へ保存継承する。	自治事務				0.57	一般	----- 0 0	藤間家資料の調査	藤間家資料の調査・整理	藤間家所蔵資料の確認調査2回	B	
16	埋蔵文化財保護事業	埋蔵文化財調査の拠点である文化財調査事務所及び梅田文化財収蔵庫における資料整理と施設管理をする。	自治事務				1.15	一般	----- 3,528 3,339	資料整理と収蔵庫管理	3月末	3月末	S	
17	開発に伴う埋蔵文化財の保護指導	埋蔵文化財の取り扱いを判断するための確認調査を実施し、保護に係る調整を行う。	法定受託事務・自治事務				0.94	一般	----- 7,677 5,802	資料整理と収蔵庫管理	3月末	3月末	S	
18	文化資料館管理運営事業	茅ヶ崎の自然や歴史・文化に係る資料を調査・研究・保存・公開し、市民(国民)に社会教育・生涯学習の機会を提供する。	自治事務				0.87	一般	----- 7,492 7,368	事業の進捗状況	資料館事業の実施	予定していた資料館事業をすべて実施し前年を上回る来館者があった。	S	●
19	市指定重要文化財旧三橋家管理運営事業	市指定重要文化財である古民家を適切に保存・管理し、市民(国民)に公開・活用し、次世代に継承する。	自治事務				0.31	一般	----- 2,260 2,256	事業の進捗状況	資料館事業の実施	適切に保存・管理し、公開を行った。	S	
20	市指定重要文化財旧和田家保存整備事業	市指定重要文化財である古民家を適切に保存・管理し、市民(国民)に公開・活用し、次世代に継承する。	自治事務				0.31	一般	----- 6,223 6,146	事業の進捗状況	資料館事業の実施	適切に保存・管理し、公開を行った。	S	
21	文化的郷土資料調査事業	市内の文化的資料を調査・研究し、結果を記録保存し、資料を収集・保管する。	自治事務				0.33	一般	----- 0 0	文化的郷土資料の調査の実施	石造物調査、民俗調査、遺跡調査	市民ボランティアと協力し、石造物や民俗調査を実施し、結果の整理作業を進めた。	S	
22	自然誌郷土資料調査事業	市内の自然誌資料を調査・研究し、結果を記録保存し、資料を収集・保管する。	自治事務				0.36	一般	----- 0 0	自然誌的郷土資料の調査の実施	動植物の分布状態	市民ボランティアと協力し、海岸部に分布する動植物の分布調査を行い、結果を報告書にまとめた。	S	

23	文化資料館展示事業	収蔵資料を展示し茅ヶ崎の自然や歴史・文化について、市民(国民)が知り学ぶ社会教育・生涯学習の機会を提供する。	自治事務		●		0.63	一般	----- 62 58	特別展・企画展開催数(来館者数)	特別展1回・企画展2回	特別展は市民ボランティアと協力を得たもの1回、企画展は寒川町と連携したものを1回、戦後70年の企画展を1回開催した。(2,744人)	S	
24	旧相模川橋脚天然記念物指定記念事業	鎌倉期の旧橋脚・大正期の地震資料の調査・保存と次世代への継承を行う。	自治事務				0.49	一般	----- 760 759	保存環境の確立	適正な維持管理と公開普及	公園部分のタイルの原状回復や水位計の修繕をし、見学等に支障をきたさないよう管理をした。	S	
25	下寺尾遺跡群(七堂伽藍跡・高座郡衙)保存整備事業	国の指定史跡として保存管理し、後世に継承するとともに重要な地域資源として学校教育や生涯学習等に広く公開活用する。	自治事務	●	●		1.36	一般	----- 123,354 83,357	事業進捗状況	公有地化促進、実施設計、公開普及	国指定史跡内の公有地化、保存管理活用計画の検討、シンポジウムなどの公開普及実施。	S	
26	ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業	市民と行政が協働して市内の都市資源を調査、保護、活用し、様々な活動を通し地域づくりに貢献する。	自治事務	●		●	0.67	一般	----- 1,010 1,006	案内板等サインの設置	3基	3基	S	
27	「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館」に集う庁内横断的取組の推進	庁内各課事業の開催時期、情報発信の連動、課かいを超えた事業協力・統合等の検討を行う。	自治事務				0.47	一般	----- 0 0	横断的取組推進状況	関連事業の位置づけと連携・協力の推進	庁内事業企画検討会を関係各課と開催し、企画展事業等で横断的な事業連携を行った。	S	
28	遺跡調査資料整理・保存事業	埋蔵文化財の調査研究をし、調査結果の周知を行う。	自治事務	●			0.58	一般	----- 5,188 4,063	収蔵整理と遺跡調査発表会の開催	3月末	3月末	S	
29	文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財補助	文化・スポーツ振興財団を補助し、埋蔵文化財保護事務を維持・継続する。	自治事務				0.17	一般	----- 12,209 11,536	補助金の支出	4月	4月	S	
30	文化資料館移転整備及び周辺地整備事業	(仮称)茅ヶ崎市博物館を整備し、文化資料館の機能を移転し、茅ヶ崎の自然や歴史・文化を知り学ぶ社会教育・生涯学習の機会を提供する。	自治事務	●			0.83	一般	----- 22,750 20,778	文化資料館移転整備事業の推進	用地の測量、地質調査、基本計画の策定	基本計画を策定し、用地の測量及び地質調査を完了した。	S	
31	博物館法に基づく登録事業	文化資料館を博物館登録原簿に登録し、博物館法に基づく機関とし充実させる。	自治事務				0.00	一般	----- 0 0	博物館の登録申請	博物館登録原簿登録	平成26年度中に完了	実績なし	
32	鶴嶺八幡宮参道文化財整備事業	鶴嶺八幡宮参道の周辺の整備を行う。	自治事務				0.23	一般	----- 40 40	事業の進捗状況	歴史広場の維持管理	鶴嶺参道歴史ひろばの管理について委託契約をし、適切に管理することができた。	S	
33	災害応急対策活動	応急対策活動マニュアルの見直しや災害時の情報収集を行い、被害箇所を復旧し活動を再開する。	自治事務				0.12	一般	----- 0 0	-	-	-	-	
34	庁内共通事務	-	自治事務				0.52	一般	----- 35 32	-	-	-	-	
	合計						16.77	予算 決算	202,659 155,562					

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析	
<p>社会教育課の第2次実施計画の事業数は、「災害応急活動」「庁内共通事務」を除き32事業である。これらを指標の達成度及び事業の実施効果から見ると、最も多かったのは「S」の26事業であり、以下[B]「C」2事業、「A」「実績なし」がそれぞれ1事業であった。</p> <p>このことから、概ね計画通りに事業を遂行しており、成果を出しているとみてよいと思う。指標は日々行うべき業務が確実に実施されているか、という視点で設定されているが、社会教育も文化財保護もすぐに目に見える成果を得られるものではなく、かと言って事業を休・廃止して良いかと言えば、そのことによるマイナスが将来顕在化することになり、やはり日々の積み重ねこそが将来につながるものと考える。ただし、指標の設定については、できるだけ数値化できるものとした方がわかりやすいと思われ、検討の余地がある。</p> <p>事業手法については、すでに委託や非常勤職員・臨時職員で対応できるものはそのように切り替えている。しかし、職員の時間外勤務時間は3,518時間と、決して少ないとは言えない数字となっている。原因としては、社会教育事業の効果を考えて土・日の実施が望ましい場合があることや、文化資料館移転整備・下寺尾遺跡群保存整備という大きな事業を抱えていること、埋蔵文化財に係る届出件数の増大、丸ごと博物館事業の運営体制検討のための市民との協議が時間外や土曜日となることなどが考えられる。</p> <p>これら、やむを得ない状況下にあるということはあるが、各事業の事務の効率化や職員間の連携を常に意識し、日々改善に努める必要があると考える。</p>	

4 新たな行政改革重点推進事業

No.	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし		